

## 新しい農業委員が選任されました

宇都宮農業協同組合からの選任委員でありました永山茂夫氏が、5月27日をもって農業委員を退任されました。

永山氏には、平成23年6月2日より3年にわたり市の農業の発展にご尽力をいただきました。

新たに塩山操一氏が同組合から推薦され市長より6月1日付で選任されました。担当地区は本吉田南になります。

農業を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、農家の代表者である農業委員の果たす役割は益々重要なものになってきています。

今後は、農業振興、農地の権利移動の適正化に取り組んで参りますので、よろしくお願いたします。



## 下野市農業用施設降雪災害被害に関する要望書の提出

農業委員会では、今年2月の大雪による農業用施設への被害の甚大さを鑑み近隣市町並みの補助をしていただけるよう「下野市農業用施設降雪災害被害に関する要望書」を市長に提出しました。

農業用施設の修繕に伴う補助は、当初、国5/10、県2/10、市1/10でしたが、要望を受け入れていただき、市の補助が1/10から2/10となりました。



## 各市町農業委員会会長・事務局長会議が開催されました

去る8月28日、日光市において県内の農業委員会会長及び事務局長が参加し会長・事務局長会議が開催され、農政及び農業委員会を巡る情勢を中心に情報交換等を行いました。

協議事項の一つである「農業委員会等に関する法律」の改正に向けた組織の検討については、次のような意見が出されました。農業委員の公選制から市長による選任制への移行については、地域からの代表制が確保される仕組みを検討すべき。農業委員数の減による定数のあり方は、新設の農地利用最適化推進委員との業務内容を検討したうえで判断すべき。県農業会議、全国農業会議所は農業委員会系統組織としての機能を残すべき。

今後は、検討した意見を集約したものを全国農業会議所を通し国に提出することになっています。

